

# 10月号

# のりあい

誰でも  
乗れます

No.13

令和2年度

つばめ丸だよ

# つばめ

## 【今月のトピック】★のりあい・つばめ地域サポーターを募集中！

大学生や高校生などを対象に、のりあい・つばめの地域サポーターを募集しています。地域サポーターとは、のりあい・つばめに係る活動を通して、燕沢地区にお住いの方々の生活を支える存在です。

具体的な活動など興味のある方は、仙台市公共交通推進課（TEL:022-214-8359）まで是非お問い合わせください♪

★裏面に地域サポーター第1号である東北工業大学の角力山さんからメッセージがありますので、ご一読ください★



利用者インタビューの様子



アンケート調査の様子

※具体的な活動は新型コロナ禍が落ち着いてからとなりますので、ご了承ください。

## ★インターンシップの学生がのりあい・つばめを体験しました

8月19日に、仙台市にインターンシップに訪れていた仙台高専の学生お二人がのりあい・つばめの乗車体験をしました。「住宅街に入り込んでいるが、運転手が安全運転で、高齢者も安心して利用できそう」、「坂が多くて、自分が運転するとなると特に高齢者などは大変だと思うが、バス停がたくさんありスーパーにも設置されているので、とても便利だと思う」との感想をいただきました。



乗車体験の様子



## ★地域サポーターの先輩からメッセージ！

みなさんは、燕沢地域の住民のために動いている便利な乗り物があることを知っていますか？その乗り物は「のりあい・つばめ」と呼ばれる乗合タクシー（小型のバス）です！私は少しでも多くの人に利用してもらいたいと思い、これまでインタビュー活動などを行ってきました。その活動を通して、住民ならでの便利な使い方を知る一方で、使い方に不安を感じる住民もいることを知りました。そこで、燕沢地域にて「のりあい・つばめ」への不安の解消や便利な情報を共有する「乗り方講座」という企画を立ち上げました。「のりあい・つばめ」は本当に便利な乗り物であるため、この講座をきっかけに一度乗っていただき、本当の便利さをみなさんにも実感していただきたいと思っています。

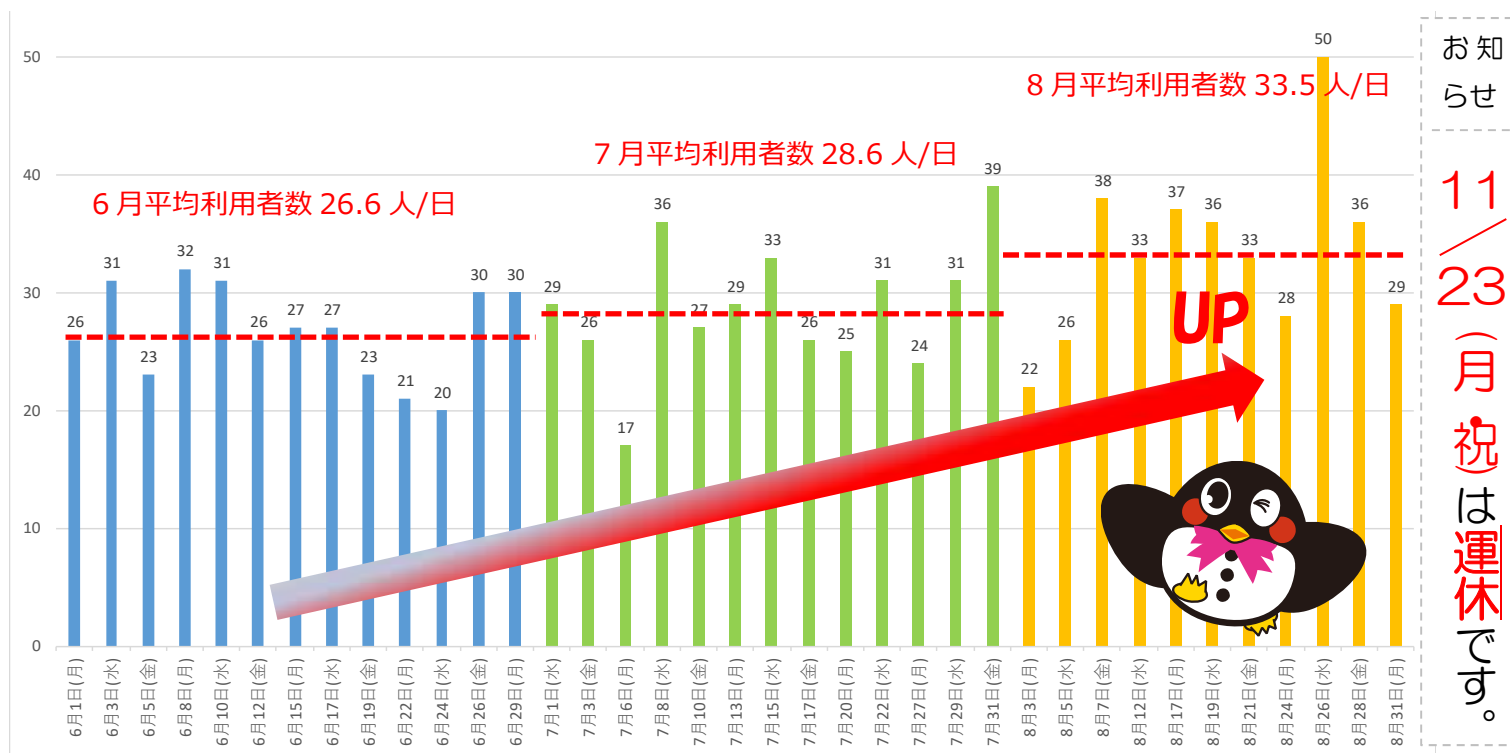


東北工業大学 角力山(すもうやま)さん

「のりあい・つばめ」は日常の移動だけでなく、地域活動へ参加する機会や車内でのちょっとしたおしゃべりなどの地域交流のきっかけを与えてくれる乗り物であると感じています。これから燕沢地区の住民の生活に欠かせない、そして住民のみなさんから愛されるような「のりあい・つばめ」になるよう、私たちと一緒に応援してみませんか。「のりあい・つばめ」を使いこなす方法を私たちとともに考え、さらに素敵な楽しい地域にしていきたいと思います！



## ★6・7・8月の利用状況



令和2年9月発行